

天下泰平 BLOGより

1日1万アクセス数をほこる人気ブロガー
「天下泰平」滝沢さんのブログにまほろば
エリクサーが紹介されました。

2015年12月12日 20:38

浄水器『ELIXIR(エリクサー)Ⅱ』発売開始



今日から2週間ほど前の2015年11月27日。60年ぶりの40cmを超える積雪で一気に真冬の雪景色となった札幌を訪れていました。

目的は、札幌の自然食品店「まほろば」さんを訪れるのと、そのオーナーである「宮下周平」さんにお会いするためです。

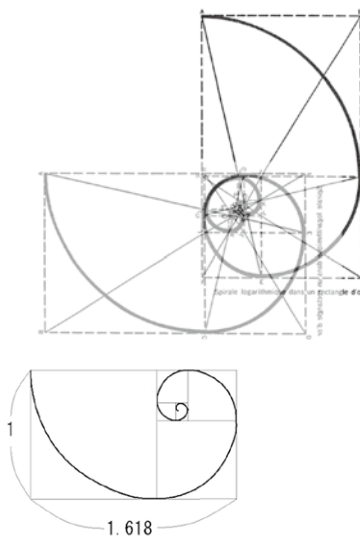


宮下さんのご先祖は、名前の通り、かの有名な「宮下文書(富士古文書)」を

守ってきた家系であります。宮下周平さんご自身もまた、本当に神様に100%愛されているような方であり、導かれるままに不思議な世界を探求されてきています。

特に宮下さんが30年以上も前に始めた「まほろば」は、一見普通の自

然食品店に見える店舗でありながらも、摩訶不思議な秘密がたくさん隠されています。



まずは、意図的ではなく偶然に設計して作ったお店自体が黄金比で構成されており、それも黄金比のラインが2つ交差すると「ハート型」の図形が出来上がるポイントが店の中心にあるのですが、その地下を掘ると、今度は物質的に本当に「ハート型」の石が大小2つも出てくるとい、ただならぬシンクロが起ったそうです。



■プロフィール： 滝沢 泰平

ホームページの
URL : <http://www.subaruland.co.jp/>

■自己紹介

1982(昭和57)年、
宮城県仙台市生まれ。やつは株式会社代表取締役。

そこで地下神殿を造ってハートの石を祀っていると、次から次へと世界中から聖者や宗教家のトップの人々が訪れるようになり、日本人でも船井幸雄会長や増川いづみ博士、その他にも各界で活躍中のスピリチュアルなリーダーの人々から天才的な科学者までもが大人数この地下神殿を訪れています。

そして、後から調べると、この地下神殿は、北海道や札幌周辺の聖地を繋ぐレイラインがすべて交差している中心点に位置していることがわかり、現在では個人の所有する自然食品店でありながらも、世界でも稀に見る聖地として知られています

恐らくは太古の昔より聖地の中の聖地として存在していた場所であり、だからこそ何か意味があってハートの石も埋められていたのかもしれませんが、そこを守る人、守れるほどの人として宮下さんが天より任命され、この地の意味を紐解き、この地に眠る膨大なエネルギーを地球や宇宙へ発信する役割を担っているのだと思います。



※キネシオロジーやO-リングテストを進化・応用させた「O-1テスト」

そんな「聖地に選ばれた人」とも言える天から導かれた宮下周平さんは、まさに現代に生きる“錬金術師”のような特殊な能力を持っている方であり、類まれな発想力と直感（インスピレーション）に加え、ご自身が開発した「O-1テスト」によって、これまで数多くの素晴らしい商品を世に生み出してきました。

宮下さんの経営される「まほろば」は、札幌はもちろん、北海道どころか、全国でも有名な自然食品店の駆け出しのお店であり、今となっては地球や人間に優しい商品が全国一と言って良いほど多種多様に揃っておりますが、その中で10年以上も前からベストセラーとなって世界中にまでその名が知られることになり、現在に至るまで人気不衰なのが「エリクサーⅡ」と呼ばれる浄水器です。

「エリクサーとの出会いがあったからこそ寺田本家のお酒は出来上がった」

エリクサーの名を最初に知ったのは、“むすひ”や“五人娘”などの人気商品で名が知られる日本有数の自然酒蔵元の「寺田本家」の寺田啓佐さんと3年以上も前に初めてお会いした時であり、酒蔵を見学させて頂いている時に微生物が活性化して発酵が進む秘訣の1つに“エリクサー”の名前を聞きました。

「あの寺田さんが絶賛されるエリクサー、これは一体どんな浄水器なのか？」

個人的に寺田さんを大変尊敬していたこともあって、その場では“エリクサー”にとっても興味を持っていたのですが、浄水器は世の中にどま

んとある中、いつの間にか“エリクサー”に対する関心も薄れ、深く追求する前に記憶からはすっかり忘れ去られていました。

それでも巡り合わせとは不思議なものであり、ご縁がご縁を結んで2週間前に宮下さんと出会い、ここに来て再び“エリクサー”とも再会することになったのです。

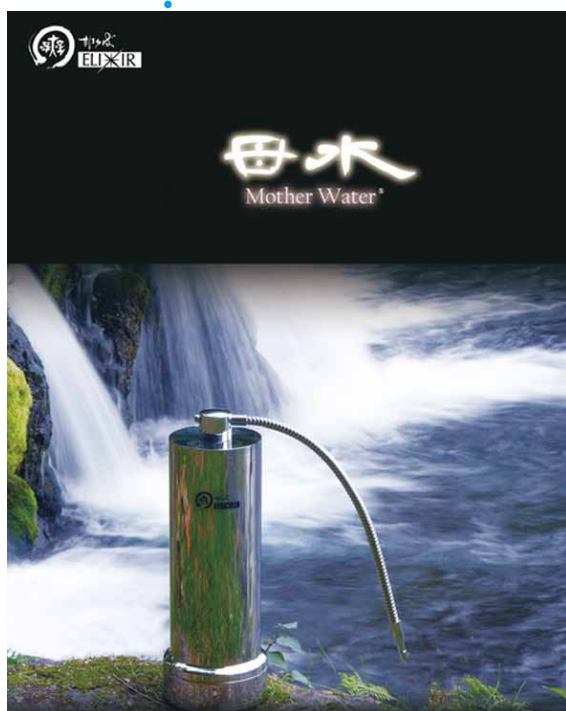
ただ、あの“エリクサー”の開発者が宮下周平さんであったとは一切知らなかったもので、正直最初はとても驚きました。

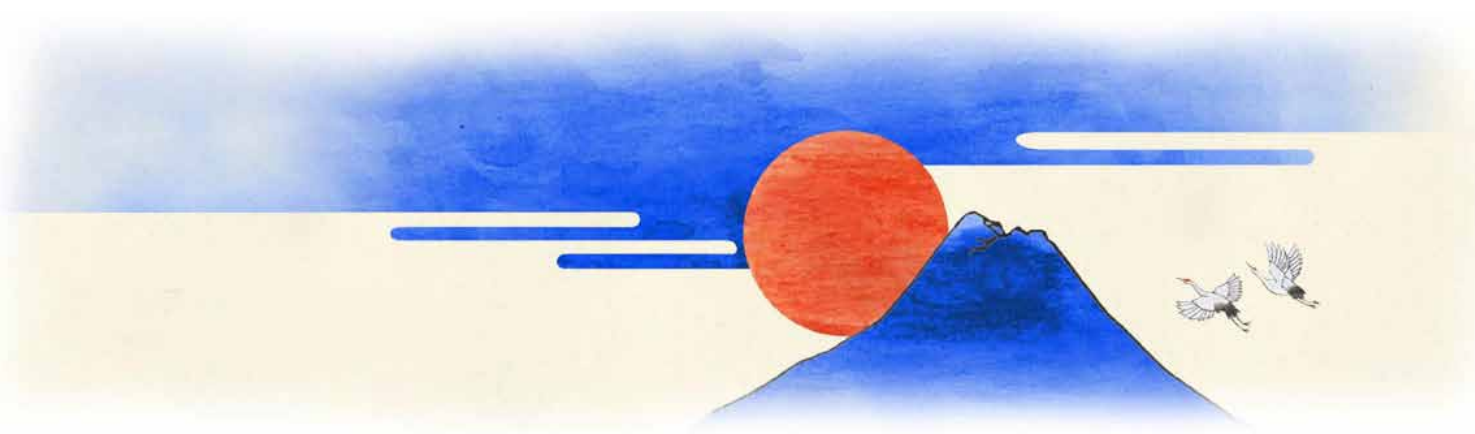
というのも、宮下さんの名前もまほろばさんの名前も以前から聞いておりましたが、あくまでも有名な自然食品店と宮下家の末裔の方という印象だけであり、何かを開発する発明家や科学者のような印象は持っていなかったからです。

それも名器中の名器として知られる“エリクサー”の開発者とは・・・。

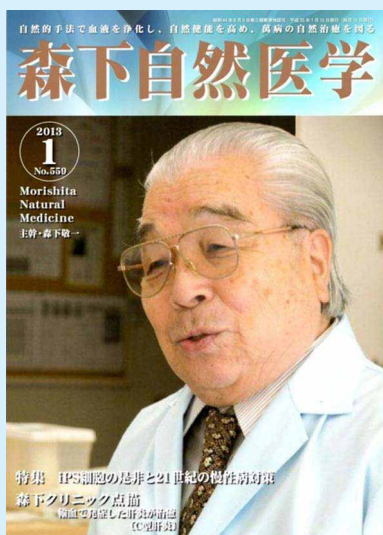
ただ、実際にまほろばさんを訪れ、その尋常ではない聖地である地下神殿に入らせて頂き、そして宮下さんと直接会ってお話を伺っていると、この方であれば“エリクサー”を生み出したのも納得というか、この方でないとは生み出せないほど“エリクサー”製造のこだわりと性能の高さに驚嘆しました。

とにかく久しぶりに“天才”と素直に呼べるような偉人にお会いすることができ、過去に見てきた数々の製品、その中でも浄水器も相当数を





チェックしてきましたが、今のところ自分の中で“エリクサー”にまさるものは見た事がないほど素晴らしい製品に出会えました。



森下博士：「科学的な浄水器は今日・明日出てくるだろうけど、このレベルのものは出てこない、これは追い抜けない。芸術というものはそういうものである。科学は、斬新的変わってゆく。新しいデータで、新しいタイプが出て改良され、後になればなるほど良くなる。

しかし、芸術品は一切関係ない。時間空間を飛び越える。私は、エリクサーにそういう感じを受けた。

“水のことをしっかり取り組まないと病気は治らない”という基本的な考えが元からあったが、エリクサーに会って、全て氷解して、自分で造ろうという野望はキレイに打ち砕かれ、これ一本でやって行こうと、非常に清々しい気持ちです。」

「森下自然医学」で知られる自然医学の権威者の森下敬一先生は、医学界きっての水の研究者であり、ご自身でも医療に役立つための浄水器を開発していたところであったようですが、それがエリクサーと出会ったことで「これは超えられない」と瞬時に判断して、素人が作った浄水器でありながらも“物としては完璧”と太鼓判を押したほどです。

他にも世界中の科学者達が、この浄水器の持つ能力、出来上がった水の質に感動し、絶賛されています。



D. Schwaiblmair 博士
Dr. David Schweitzer

「エリクサーは人体に組み込まれた濾過子の原理に科学的に反応するでしょう。」



G. P. Patil 博士
Dr. G. P. Patil

エリクサーはフナゴン博士が世界的な免疫系研究の成果を基に、コロイドを、最も優れた表面能力を持つ材料で、



P. S. Kallala 博士
Dr. P. S. Kallala

まほろばエリクサーは、最も優れた表面能力を持つ材料で、最も優れた表面能力を持つ材料で、



Jean Hueber 氏
Jean Hueber

「これは非常に重要な役割を担っており、ごく一部のみにしかできないものである、素晴らしい研究を続けるべきだ。」

では、これほどまで専門家たちを唖らせるエリクサーとは一体どういった浄水器なのでしょう？

エリクサーが、これまでに類を見ない「**オンリーワンの浄水器**」と呼ばれる最大の秘訣は、内部に使用されている材料にポイントがあります。

その1つである「**まほろばセラミック**」は、なんと**700種類以上の動物・植物・鉱物を結晶化させたセラミック**であり、現在では1000種類以上にもなっているほど、まさに錬金術師としての宮下さんならではの特殊な材料の調合となっています。

まずいくら良いものでも「**多ければ良い**」という世界ではなく、どちらかといえば「**シンプル・イズ・ベスト**」と言われるように、世に言われる“**本物**”というのは極めてシンプルなものが多いように思えます。

ただ、それは材料の1つひとつの本質や相性といったものを正確に理解していない場合のケースであり、プ





口中のプロ、つまり古代における錬金術を使いこなせるような達人においては、1つの素材においても本当に能力を発揮する適量な度合いを把握出来たり、物質と物質の組み合わせによる相乗効果や化学反応を正しく理解して、単体で扱うよりも数倍、数十倍以上も効果が出るような手法を持ち合わせています。

宮下さんは、その能力をずば抜けて持っている稀な方であり、ご自身の開発した「0-1テスト」と呼ばれる独自の筋反射テストによって、極めて正確で高レベルな錬金術を使っています。

長い年月と手間暇かけて吟味した1000種類もの動植物と鉱物。水のみ材料だけでもルルドの水、フンザ(世界一良質な水)の水、屋久島の縄文水、月の石の波動水、隕石の波動水などなど多種多様であり、他にも世界各地から集められたハーブ、薬草、貴重な天然石や砂や岩石など、普通では入手困難な素材も数多くあります。

何よりも、選ばれたのが1000種類であれば、チェックした数はその何倍もの材料の数であり、途方もない時間と根気によって生み出された究極の組み合わせとも言ってもよいのですが、どれ1つ欠けても今より効果が落ち、今把握している限りの材料の中では1つ新しいものを追加しても効果が変化するので、かなり繊細な組み合わせとなっています。

それらすべてを結晶化させたセラミック。これは外注して機械で短時間で量産できるような代物でなく、炉を自家購入して自分でセラミックを焼くことから始めたようです。

通常のセラミックは2〜3種類の素材を機械的に大量に一気に短時間で焼き上げてしまうようですが、この「まほろばセラミック」は非常にデリケートな素材のため、火入れから焼き上げ、冷ましも含めて**1週間も複雑な作業を繰り返し**、工程の中では数秒タイミングを間違えるとすべて台無しになってしまうほど神経を使っている生産活動であったようです。

ある意味、機械やコンピューターよりも正確で高レベルな機能を持っている宮下さんの「0-1テスト」によって、材料の選定から製造過程もすべてこだわり続けて生まれたセラミックだけあり、世の中の専門家達がたちまち唸るほどの効果を生み出していますが、それは1000種類もの物質からもたらされた**“情報”**をエリクサーの水はすべて持っているからです。

エリクサーは浄水器ではなく**「浄活水器」**とも呼ばれますが、浄水器の不純物を取り除く能力だけでなく、水に新たな能力や力をプラスする効果もあって、この1000種類もの情報は、活水器としての役割の中心ポイントとなっています。

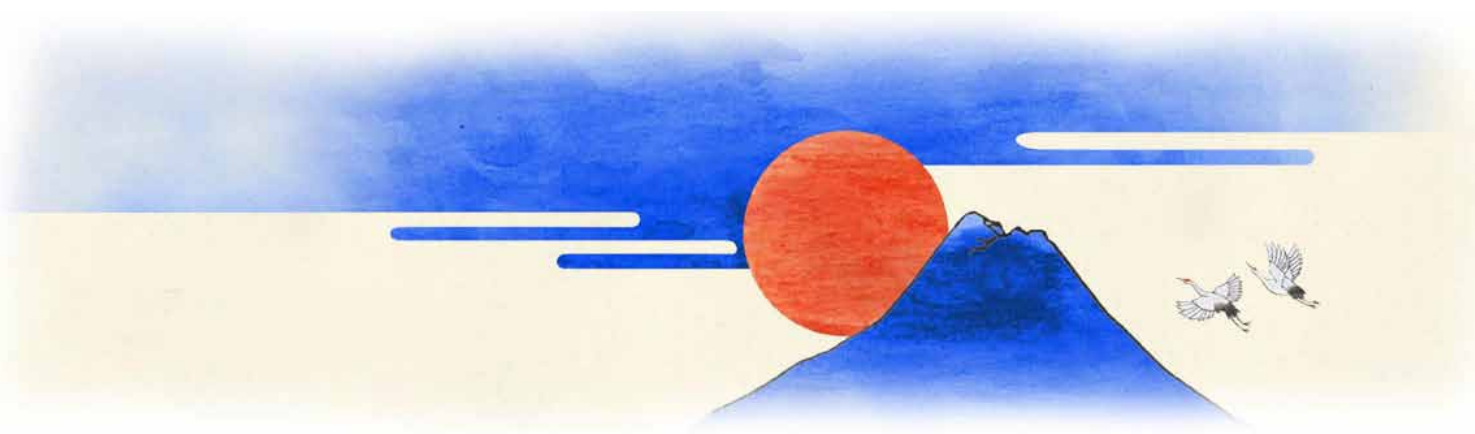
では、不純物を乗り除く浄水部分の機能の肝となっているのは何かといえば、それは**「45種類にも及ぶ鉱物・ろ材」**になります。



5種類の活性炭による複合除去

通常、浄水用のろ材としては活性炭や珊瑚などを1種類から2種類、多くても数種類を配合する程度ですが、エリクサーの場合は活性炭1つにしても、**石炭とリグナイト、ピートモスと二種類のヤシガラ、さらに重金属除去活性炭、備長炭、竹炭セラミック**などが入っており、**ここまでの種類の活性炭が入っている浄水器は世界初**とされています。

なぜ、活性炭1つにしても多種多様のタイプを揃えるかといえば、それは活性炭は多孔質になって孔に重金属などの有害物質を吸着する仕組みになっていますが、この有害物質の形やサイズも多種多様であるため、なるべく広範囲の不純物にも対応できるように設計されているからだそうです。



エリクサー全体では、**活性炭だけでも東京ドームのグラウンド 80 倍もの表面積**があり、これは皇居全面積にも及ぶほどの大きさになるそうです。

これほど広大な表面積に有害物質を吸着する孔が無数にあるので、**重金属、トリハロメタン、有害塩素系や農薬などの分子レベルの溶解成分も吸着除去**することができます。

■日本食品分析センターによる分析結果

検査項目	水質基準	原水 (調整水)	エリクサー通水後
塩素	1mg/ℓ 以下	1.00	不検出
トリハロメタン	0.1mg/ℓ 以下	0.099	0.0092
有機溶剤 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン	0.03mg/ℓ 以下 0.01mg/ℓ 以下	0.031 0.012	0.0006 0.0003
農薬 シマジン	0.003mg/ℓ 以下	0.0033	不検出
カビ臭 2-メチルイソボルネオール	0.00002mg/ℓ 以下	0.044μg/ℓ	不検出
鉛	0.05mg/ℓ 以下	0.042	不検出
アルミ	0.2mg/ℓ 以下	0.99	不検出

日本食品分析センターの実験データによると、**エリクサーを通した水道水は塩素や重金属類などはほとんど不検出となり、残ったとしても 0 に極めて近い極めて安全な水質のレベルにまで変化させます。**

エリクサーの活性炭は、塩素を 50 年にわたって除去するほど潜在能力があるそうです。

もちろん、近年において誰もが気になっている放射性物質もまた重金属の 1 種であり、エリクサーを使った福島汚染水の浄水実験においては、**セシウムが不検出になる効果**も確認されております。

今回実験に利用した汚染水の中にはヨウ素が検出されなかったため、ヨウ素の除去効果の正式なデータはありませんが、通常はセシウムが除去できればヨウ素も問題なくできると予想されており、エリクサーは今心配されている放射能汚染においても、強い味方となって活躍してくるものと思います。

原発事故から、もうすぐ丸 5 年。「5 年後」が 1 つの節目であり、事故以来に様々な情報を集めたりして被曝

対策も思案してきましたが、その中で内部被曝をいかにしないかが大きなポイントの 1 つとなっていました。

内部被曝の多くは空気よりも食材を中心とした体内に取り入れるものが原因であり、その中で“**水**”においては生活の中で完全に対応するにも限度があると思い、何か画期的で良い浄水器がないか探し求めてきましたが、ようやくギリギリのところで自分にとってはベストな浄水器が見つかったと思っています。

「**除去された放射性物質が内部に蓄積されないか?**」

こういった心配をされる方もいるかもしれませんが、今回の実験では内部の活性炭などにも放射性物質が残っていないか検査機関でチェックしており、そのデータでも“**不検出**”となっているので安心です。

実際に行った野池水摂取時の写真です。



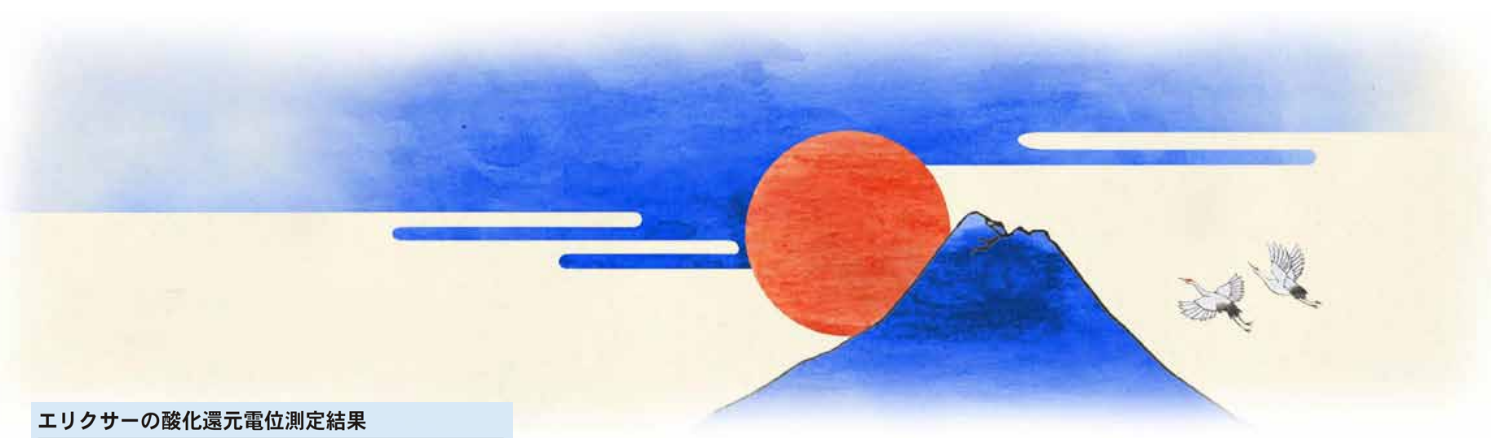
■放射性物質について

●去る 2011 年 6 月 26 日からの 4 日間、福島県飯館村の野池水を採取し、エリクサーの放射性物質除去能力について実験を行いました。第三者機関による分析の結果、放射性セシウムの除去が確認されました。●また、逆流洗浄の有効性を確認するため、上記試験で野池水を通過させたあと、逆流洗浄を行い、本体から取り出した活性炭等の分析を合わせて行いました。その結果、ろ材に放射性セシウムは確認されず、逆流洗浄にて管体外へ排出され、管体内に放射性物質を濃縮させないことが確認できました。(尚、本試験は通常の試験における国内暫定基準値 200Bq/kg、検出限界 10 Bq/kg に対し、より厳しい検出限界 1 Bq/kg にて分析を行っています)

測定項目	測定結果	①野池水	②通過水	③活性炭(洗浄後)	検出限界
放射性ヨウ素 I-131	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	1 Bq/kg
放射性セシウム C s-134	7 Bq/kg	検出されず	検出されず	検出されず	1 Bq/kg
C s-137	8 Bq/kg	検出されず	検出されず	検出されず	1 Bq/kg
C s-136	検出されず	検出されず	検出されず	—	1 Bq/kg

検査機関①②…株式会社 化研 ③…株式会社 同位体研究所

※上記は通常の浄水器性能試験が物理的に困難なため、原水および初期通水に限定した 1 回の水質分析で、誤差の可能性を含みます。また、必ずしも性能を保証するものではありません。
※放射性ヨウ素については、今回採取した原水・および通過水共に確認されませんでした。



エリクサーの酸化還元電位測定結果

分 析 項 目	分 析 結 果			分 析 方 法
	水道水	エリクサー 通過水	セラミックス水 (まほろばセラミックス)	
酸化還元電位 (Ehmv) (水素電極値)	889	335	266	酸化還元電極法
(塩化銀電極値)	667	125	56	

(環境科学分析センター)

酸化還元電位の数値が、プラスに高ければ高いほど酸化している水であり、逆にマイナスにいけばいくほど還元力の強い水となります。

魚や微生物などの生物が生息し始めるきれいな川上の水などの還元電位は+ 200mv 前後であり、長く常飲するには+ 200mv 前後の天然水に近い水が一番良いと言われています。

首都圏の水道水は+ 500mv ~ 700mv と、かなり酸化している水となっていますが、エリクサーを通した水道水は一気に 500mv ほど値が下がり、大自然の中の天然水と同じほどの電位で安定します。



「抗酸化力の高い水」は“腐らない水”であり、それも単純に酸化還元電位が低いだけでは説明がつかないほどエリクサー水は抗菌活性力に優れており、お茶を使った抗菌実験では、**15 年も経過しても煎茶の緑色**

が変わらず、腐敗せずに原型を保ったままの結果となっています。

他にもエリクサー水で炊いたご飯をビン詰めにした実験でも、半年経過しても真っ白いまま腐らなかったそうです。

「まほろばセラミックスは世界の聖地をも凌ぐ、高い常時性とシューマン共振」

「まほろばセラミックスは遠赤外線理想体とされる黒体に極めて近い波長を放射」

「エリクサー水は世界の秘境フンザの水を超えた表面張力 (= 浸透力、洗浄力、生物の成長力)」

「エリクサー水を使うと牛乳と水だけでチーズができる」

エリクサーの持っている能力や実験データを並べたら一冊の本ができるほど、まだまだすべてをお伝えしきれないほど膨大な資料があるのですが、是非ともご興味ある方はまほろばさんへ直接訪れたり、パンフレットを取り寄せて詳細を調べて頂けたらと思います。



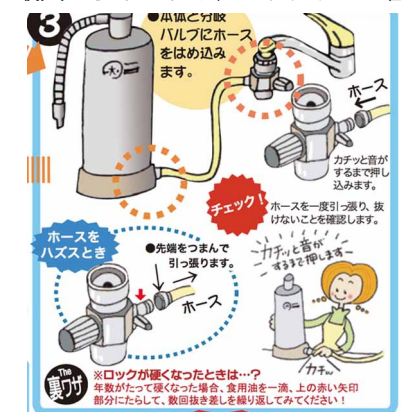
ちなみに我が家でも早速、取り付けてみましたが、何より驚いたのが“**取り付けの簡単さ**”です。

購入者の 95% 以上の人たちが自力で取り付けたと聞いていましたが、本当にエリクサーは女性でもお年寄りでも、ちゃんと説明書通りに進めば誰でも簡単に取り付けられます

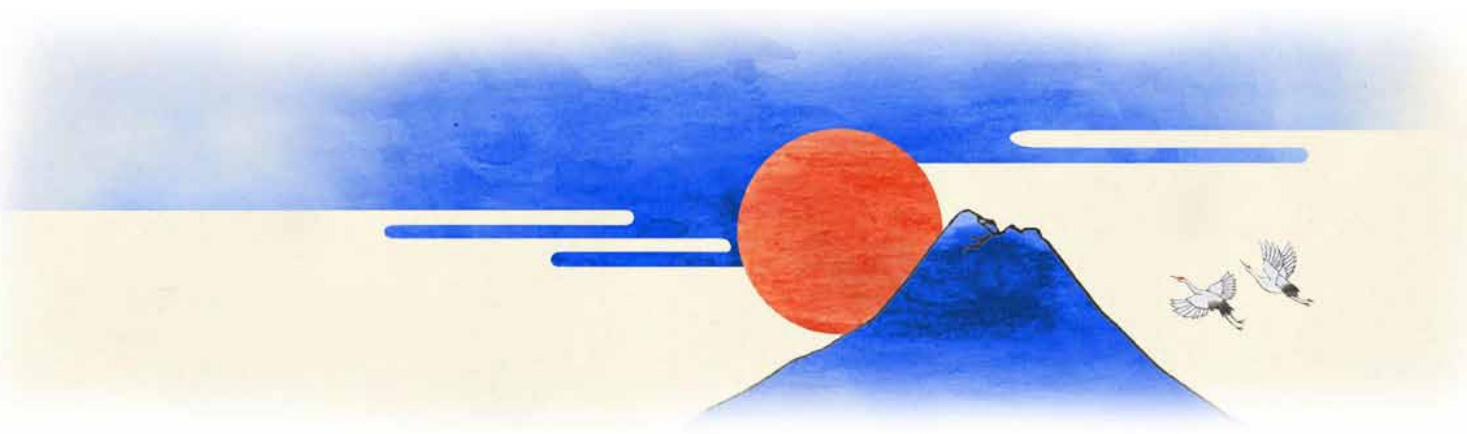
それも工具も必要なく、中に入っている部品だけで出来ます。



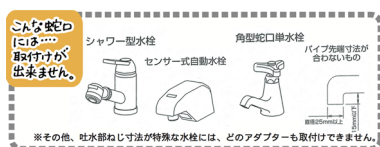
最大のポイントは、エリクサーの管



とを繋ぐ「分岐バルブ」という部品を蛇口に取り付けられたら、もう設置はほぼ完了といっても過言ではありません。



エリクサーは水道管の途中に接続したりする浄水器ではなく、取り付けたい蛇口の先端からホースでエリクサーに水を通し、最後はエリクサーの管から水が出てきます。ワンタッチのcockで簡単に元の水道から水を出すかエリクサーから出すかを切り替えることができます。



ようは、この「分岐バルブ」が取り付けられる水道であれば大体どこでも設置可能であり、主に上記の3つのタイプの水道には直接取り付けはできないケースが多いので、工事などが必要（シャワーヘッドを取り替えるなど）となります。



また一般的な浄水器は、大体1年に1回はフィルター交換が必要となりますが、エリクサーは「逆流洗浄（バックウォッシング）」というシステムを導入しており、約10日に1度くらいのペースという目安はありますが、ホースをちょっとだけ繋

ぎかえて水の流れが逆流するようにし、そこにお湯を20分間ほど流して洗浄します。

「10日に1度、20分間お湯を逆流させる」という僅かなメンテナンスさえすれば、中身の材料を一切変えなくても5年から7年間は買った当時と変わらない浄水能力を保つので、基本的には7年ほどは大きなメンテナンスは必要ありません。

1年に1回フィルター交換が必要な浄水器は、フィルター交換の必要な時期が迫ってくると能力が極端に落ちることが多いので、浄水器としての万全な能力を年間を通して発揮しないケースもありますが、エリクサーは5年経過しても購入した当時と能力に変化がほとんどありません。

またメタリックな外装ですが、使われている本体の素材や部品も安全性にこだわって作られており、ホースも安全性の高いシリコンなどが使われています。

決して安価な浄水器ではありませんが、中身さえ7年に1度ほどのペースで変えれば次世代にまで渡って長く使える「浄水器」であり、何よりも森下博士が伝えているように科学の領域を超えた芸術品であって、古くても新しく、時代を超えて活躍するものだと思います。

完全にオリジナルの手作り製造のため、現在在庫であるものがなくなり

次第の生産であり、一度在庫切れになってしまうと約3ヶ月ほど製造まで時間がかかるそうですが、やつはでも少量確保しましたので、この機会に思い切って浄水器や活水器を切り替えたい、新規で取り付けたいと思っている方は、是非ともエリクサーⅡをお試しくださいます。

「取り付けが可能かどうかわからない」と思った方は、一度お気軽にご相談ください。

必要であれば「分岐バルブ」の見本などを送って、取り付けが可能かどうかチェックできるようなサポートも出来ればと思っております。ただ、普通の蛇口であればほとんど問題なく取り付けられると思います。

2016年以降は、今までよりもさらに“水”が大事なテーマとなってくる時代になると思います。

皆様の日常の“水”がより豊かになることを願っております。



NEW オススメ

浄水器『ELIXIR(エリクサー)Ⅱ』
販売価格(税込)：324,000円